

EU Indicators

欧州経済指標コメント：4-6月期英国GDP（速報値）

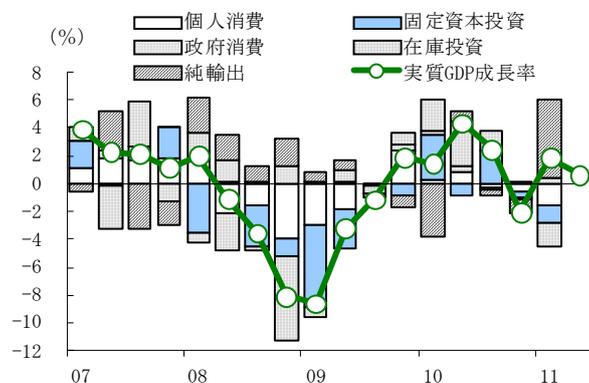
発表日：2011年7月27日（水）

～4-6月期の成長率は特殊要因で下振れ、7-9月期に反動が現れる可能性～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

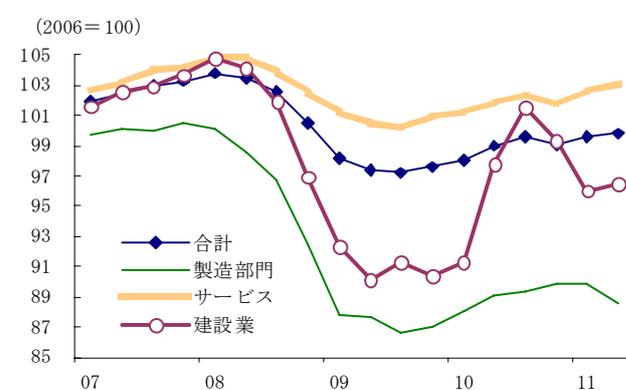
- 4-6月期の英国の実質GDP成長率は前期比+0.2%、同年率+0.7%と、事前のコンセンサス予想に沿った緩慢な成長ペースにとどまった。天候要因による期毎の振れを調整すれば、昨年10-12月期から本年1-3月期の景気はゼロ成長。その後も景気回復の足取りが鈍いことが示唆される。
- 但し、同期の成長は、①ロイヤル・ウェディングによる祝日の増加（製造ラインの停止などにより生産活動を下押し）、②東日本大震災による部品供給への影響（自動車関連の生産活動を下押し）、③2012年のロンドン五輪のチケット販売開始（GDP比で0.1%相当の売上があったが、GDP統計上の消費にカウントされるのは2012年7-9月期、チケット購入に伴う家計の所得制約と代替品の消費抑制）、④4月の歴史的な温暖な天候（暖房用の電力・ガス需要を下押し）など、特殊要因によって下振れ。統計局では、これらの要因が前期比ベースの成長率を約0.5%ポイント下押しした可能性があるとして試算。
- こうした特殊要因の一部は7-9月期の成長率に反動増として現れる。また、物価上昇による家計の実質購買力の目減りも前期比ベースでは限界的に縮小に向かっている。PMI製造業指数の一段の低下など、足許の景気指標は全般に冴えないが、7-9月期の成長率は意外に底堅い数字となる可能性がある。

■英国：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：英国家統計局

■英国：業種別GDP



出所：英国家統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
09/10-12月期	5.3	1.9	(2.8)	3.8	1.8	▲ 5.8	(0.8)	(▲ 0.8)	15.5	17.7
10/1-3月期	7.1	1.4	(5.2)	0.4	1.4	23.1	(2.3)	(▲ 3.8)	▲ 4.4	9.5
10/4-6月期	4.5	4.3	(3.6)	1.3	2.0	▲ 5.3	(3.2)	(0.7)	12.7	8.6
10/7-9月期	2.6	2.5	(3.0)	▲ 0.5	▲ 0.1	16.7	(1.4)	(▲ 0.5)	6.0	7.1
10/10-12月期	4.7	▲ 2.0	(▲ 1.0)	▲ 0.9	0.5	▲ 2.9	(▲ 0.0)	(▲ 1.0)	8.9	11.7
11/1-3月期	6.8	1.9	(▲ 3.8)	▲ 2.4	2.0	▲ 7.7	(▲ 1.7)	(5.6)	9.8	▲ 9.1
11/4-6月期	-	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：英国連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。